

令和6年度 学校安全教室（防災教室）

（令和6年8月8日木曜日）

1 目的

各学校の安全担当者を対象に防災教育に関する研修会を実施し、実効性のある避難訓練や災害を科学的に理解する防災教室のあり方について理解を促し、各学校における防災教育の充実を図る。

2 会場 風テラスあくね

3 参加人数 103人

4 研修会の様子



講話：「災害発生時の対応」

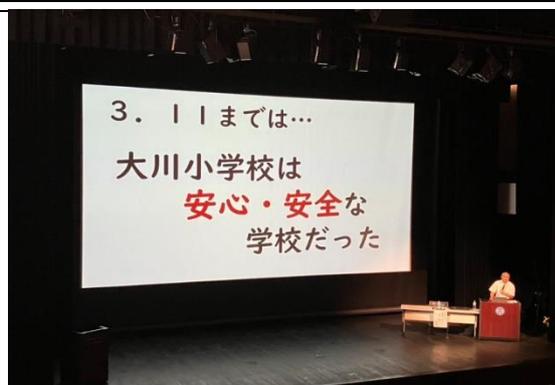
～大川小学校事故に学ぶ～

宮城県石巻市立青葉中学校 平塚 真一郎 校長先生



講義Ⅱ：「鹿児島県の防災教育のあり方」

鹿児島大学 共通教育センター 井村 隆介 准教授



平塚校長先生の講話の様子



全体の様子

【参加者の感想】

- ・ 県の保健体育課指導主事の講義の中で、「全ての児童生徒が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるように」という言葉があった。現場では、このことを常に意識したい。
- ・ 南海トラフ地震防災対策推進地域の指定に薩摩川内市も入っている。いつ起こるか分からない中で、「生徒の安全」を第一に考えられる教職員集団でありたい。
- ・ 平塚校長先生は、大川小学校裁判訴訟で裁判官の最後の言葉が「学校が子供の命の最後になってはならない」であったと述べた。我が子を亡くした平塚先生はどんなに無念であったろうか。本日参加させていただき、「スイスチーズモデル」を学んだ。「チーズ＝安全対策（防御壁）」を増やすことが最も大事なことであったと痛感した。